

富士が丘のサクラ守り、二年目の作業内容のお知らせ

皆様におかれましては、健やかにお過ごしのことと思います。今年の極寒期に皆様と力を合わせて、車池公園・コミセン前のグランドのサクラの手入れを行いました。

この一年目の作業の成果は、個体差はありますが、木々の樹勢の回復は明らかに認められます。その詳細は後段に報告します。

さて二年目となる来春の作業ですが、初年度と同様に樹の元気を回復することを主眼とします。一年次の手入れに加えて、若干、作業の内容を高める工夫もしています。その詳細も同じく後段で述べております。

なお、作業の日程その他は、改めてご案内します。

早々、

I 二年目の手入れの計画について

- イ) 一年目の作業はすべてが初めてとあって、手入れの見落としが数箇所ありました。これらの手入れを行います。該当箇所には落葉する前に印をつけております。
- ロ) 枯れ枝の処理を主とする一年目の手入れに加え、並行枝と混み枝（逆さ枝、交差枝など）の切除を行います。これは夏季に枝葉間の風通しを確保、害虫の発生を抑えるためです。
- ハ) 冬期の肥料撒きを行います。
- 二) 二年目の参加人数が一年目と同程度、あるいはそれ以上の場合は、同公園内の他のサクラも作業の対象を加えます。因みに、一年次の参加人数は、平均5名、整備したサクラの概数は20本強です。その約倍強のサクラが同公園内に植わっています。いずれもこれまで手入れされて来なかった木々です。

II 一年目の作業の成果と期待について

- イ) 施肥の効果もあって幹が太りました。新しい樹皮が縦じま模様を作っています。また、
- ロ) 枯れ枝をその付け根まで切り戻した結果、あるいは腐朽部を掻き出した結果、新たな樹皮が処置面の外縁から中心に向って拡がりつつあります。（添付写真をご参照）
- ハ) 樹勢の回復が順調ですと、開花時には、それまでは一つの花芽から伸びる花柄が精々3本から多くて4本であったものが、5本、7本と増えて行きます。こうなると樹全体の花のボリュームは圧倒的となります。各地のサクラ名所と呼ばれるこれら並みになることが楽しみです。

以上、

